

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
高齢者福祉		選択	2	(リ) 2.3 (人) 2	前期 (人) 後期 (リ)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
手塚 恵	講師控室	kyoumu	授業終了後に質問など受付		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉高齢者福祉領域における制度や社会サービスの概要を把握し、高齢期における生活課題を社会情勢や歴史の変遷を踏まえ、必要とされる知識や支援について学び、理解することを目的とする。</p> <p>〈概要〉教科書を中心に講義を行い、高齢者福祉における対象者の理解や支援に必要な知識、制度、社会資源等について学び、グループワークを通じて学生が具体的なイメージをもてるように授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> デイカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	高齢者福祉分野に関するニュースや社会情勢について、積極的に疑問や関心をもって調べて、理解を深めることが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 2 高齢者福祉/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/央法規出版				
参考書	なし。				
外部教材	なし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	高齢者の生活実態について、社会情勢との関連から説明できる。		HSU(1)、HC(1)(3)		
②	高齢者福祉の歴史と理念について説明できる。		HSU(1)(2)、HC(1)(2)		
③	介護保険制度の概要について説明できる。		HSU(2)(3)(5)、HC(2)(3)		
④	高齢者に対する関連諸制度について説明できる。		HSU(1)(2)(5)、HC(2)(3)(5)		
⑤	高齢者支援における専門職の役割について説明できる。		HSU(1)(2)(3)、HC(1)(2)(4)		
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の目的、進め方の説明、評価方法、他) について理解する。高齢者福祉の全体像を理解する。	講義	内容の内容を確認する。		2
2	高齢者と少子高齢社会について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書(p1-15)を精読する。		4
3	高齢者と少子高齢社会、高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書(p16-33)を精読する。		4
4	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境について学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書(p34-44)を精読する。		4
5	高齢者福祉の歴史と理念浮いて学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書(p45-61)を精読する。		4
6	高齢者福祉の歴史と理念について学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書(p62-67)を精読する。		4
7	介護保険制度について学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書(p69-86)を精読する。		4
8	介護保険制度について学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書(p87-110)を精読する。		4
9	高齢者に関する関連諸制度について学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書(p111-127)を精読する。		4
10	高齢者に対する関連諸制度について学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書(p128-144)を精読する。		4
11	高齢者に対する関連諸制度について学ぶ。③	講義 グループワーク	教科書(p145-167)を精読する。		4
12	高齢者と家族などの支援における関係機関と専門職の役割について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書(p169-188)を精読する。		4
13	高齢者と家族等に対する支援の実際について学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書(p189-209)を精読する。		4
14	高齢者と家族等に対する支援の実際について学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書(p210-242)を精読する。		4
15	まとめ	講義	配布資料を復習する。		6
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		80	0	0	0	20	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5	
問題を発見・解決する力		20	0	0	0	5	25	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。 試験は講義で用いた教科書、配付資料から出題する。予習と復習を行い、理解度を深め知識の定着を図ること。 ・試験形式(筆記試験) ・問題形式(選択式・記述式・穴埋め式など)				Teams 上に試験解答例を掲示する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	講義中に理解を深めるため、受講生間で小グループによるグループワークを実施する。リアクションペーパーを毎回提出してもらい、授業の理解度や学ぶ姿勢などを評価する。				質問があった場合、授業内にて共有をする。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし。							
教員の実務経験	社会福祉士として高齢者分野と医療法人での 21 年の実践経験。							
実践的授業の内容	教員が実践現場で出会った事例等を用い、実際の状況を理解できるよう工夫する。(事例は個人を特定できないように配慮する)							
そ の 他	【受講する際の注意事項】 ・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラパスの変更があり得る。 ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は原則禁止する。							